

指定事業所に係る環境配慮書

〇〇年 〇〇月 〇〇日

実際に提出する日付を記入

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0004

住 所 川崎市川崎区宮本町1番地

川崎産業株式会社

氏 名 代表取締役 甲乙 丙丁 押印不要

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例第17条第2項(第22条第1項)の規定により、次のとおり提出します。

事業所の名称	川崎産業株式会社 川崎工場
事業所の所在地	川崎市川崎区X町一丁目1番1号
提出が必要な 環境配慮概要書	<input checked="" type="checkbox"/> 環境への負荷の低減に係る配慮概要書(付表1) <input checked="" type="checkbox"/> 化学物質の適正管理に係る配慮概要書(付表2) <input checked="" type="checkbox"/> 自動車排出ガスの排出の抑制等に係る配慮概要書(付表3) <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化物質の排出の抑制に係る配慮概要書(付表4) <input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物の発生の抑制及び再生利用等に係る配慮概要書(付表5) <input checked="" type="checkbox"/> 環境の保全に係る組織体制の整備に係る配慮概要書(付表6) <input type="checkbox"/> その他環境への負荷の低減に係る配慮概要書

備考 1 提出が必要な環境配慮概要書の欄には、該当する□内にレ印を記載してください。

環境への負荷の低減に係る配慮概要書

項 目	環 境 配 慮 の 概 要
無害な又は有害性のより少ない原料の選択及び有害な物質の使用がより少ない製造方法の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の少ない物質を選定するため、社内規定の基準に沿って選定している。 ・脱脂洗浄施設で用いるジクロロメタン等を含む有機溶剤については、代替物質への転換を進めており、使用量を削減している。
施設の改善、施設の適正な管理、作業方法の改善等による物の製造、処理、廃棄等の工程から副次的に生ずるおそれがある有害な物質の発生の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーは低NO_xバーナーの機種を設置の上、燃料として都市ガスを使用し、窒素酸化物の排出量を削減している。 ・塗装施設で使用する塗料は、炭化水素系物質の含有量が少ないものを選定し、使用している。
原材料及び水の使用並びにエネルギーの消費をより少なくするための製造される物の性状及び物の製造の工程の転換	<ul style="list-style-type: none"> ・製造の工程における原材料の使用量の低減化のため、製品の軽量化技術の研究を進めている。 ・事業所の水の使用について、冷却水等はクーリングタワー等によるリサイクルにより使用量を低減化している。
排水中の窒素含有量及び ^{りん} 含有量を低減する措置による海域における富栄養化に伴う水質の悪化の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素及び^{りん}を含む副原料及び洗浄剤について、含有量が少ないものを選定し、使用量を削減している。 ・窒素及び^{りん}を含む排水は、排水処理施設で処理後、水質確認の上、海域へ放流している。
適正な構造を有する処理施設によるし尿その他の生活に起因する汚水の処理	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿水、手洗い等の排水は合併浄化槽で処理後、水質確認の上、海域に放流している。
施設の改善、施設の適正な管理等による悪臭の発生の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭が発生する作業は建屋内で行い、炭化水素等の有機系排出ガスが発生する可能性のある場所には活性炭吸着設備を設置するとともに、定期的に測定を行い、環境中への放出量を抑制している。
騒音及び振動の防止に配慮した施設の選択及び作業方法の改善並びに騒音源及び振動源の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・設置する施設は、低騒音・低振動タイプを設置し、防振ゴム及び防音効果のある壁材の設置により騒音・振動を低減化している。
地下水の利用のより少ない作業方法及び施設の管理方法の選択並びに掘削工事を行う場合にあつては、地下水の排除による周辺の地盤の沈下の防止のための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・冷却用の地下水の使用にあたっては循環利用により、地下水の採取量を削減している。
その他	なし

- 備考 1 配慮した内容がない場合は、該当欄に「なし」と記載してください。
 2 記載しきれない場合は、別紙により提出してください。
 3 参考資料がある場合は、添付してください。

化学物質の適正な管理に関する配慮概要書

項 目	環 境 配 慮 の 概 要
管理体制の整備 （事業所全体として）	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の適正管理について検討し、実施する組織（<input checked="" type="checkbox"/>有）、無 ） ・上記で「有」の場合、その組織の責任者、役割分担、連絡体制（<input checked="" type="checkbox"/>有）、無 ・事業所内の組織及びその職務の内容並びに化学物質の取扱い及び管理方法等 を定めた規程類（<input checked="" type="checkbox"/>有）、無 ・化学物質の適正管理についての従業員等への研修（<input checked="" type="checkbox"/>有）、無 ・災害及び事故防止のための対策（<input checked="" type="checkbox"/>有）、無 ・事業所内の表示
化学物質に関する情報の収集及び整理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集及び整理 〔<input checked="" type="checkbox"/>① 取扱い化学物質製品の成分、<input checked="" type="checkbox"/>② 物理化学的性状、<input checked="" type="checkbox"/>③ 危険性及び有害性、<input checked="" type="checkbox"/>④ 関連法規、<input checked="" type="checkbox"/>5 汚染及び事故の事例等、<input checked="" type="checkbox"/>6 その他〕 ・情報収集の情報源〔<input checked="" type="checkbox"/>① SDS、<input checked="" type="checkbox"/>② 国等のデータベース、<input checked="" type="checkbox"/>3 その他〕
受入れ、保管、使用、排出及び廃棄の量及び方法の把握	<ul style="list-style-type: none"> 物 質 名 （<input checked="" type="checkbox"/>六価クロム化合物、<input checked="" type="checkbox"/>トリクロロエチレン、<input checked="" type="checkbox"/>トルエン、<input checked="" type="checkbox"/>キシレン） ・把握項目 〔<input checked="" type="checkbox"/>① 受入量、<input checked="" type="checkbox"/>② 保管量、<input checked="" type="checkbox"/>③ 使用量、<input checked="" type="checkbox"/>④ 環境への排出量、<input checked="" type="checkbox"/>⑤ 廃棄物に含まれて事業所外への移動量〕 ・環境への排出量の把握方法 〔<input checked="" type="checkbox"/>① 実測値、<input checked="" type="checkbox"/>2 物質収支、<input checked="" type="checkbox"/>3 排出係数、<input checked="" type="checkbox"/>4 その他（<input checked="" type="checkbox"/>）〕 ・廃棄物に含まれての移動量の把握方法 〔<input checked="" type="checkbox"/>1 実測値、<input checked="" type="checkbox"/>② 物質収支、<input checked="" type="checkbox"/>3 排出係数、<input checked="" type="checkbox"/>4 その他（<input checked="" type="checkbox"/>）〕
使用量及び排出量がより少ない技術の導入及び機器の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・工程ごとの使用量、排出量及び廃棄物としての移動量の把握（<input checked="" type="checkbox"/>有）、無 ・危険性及び有害性の高い化学物質又は排出量の多い化学物質について、使用量及び排出量の削減又は代替物質を導入する場合は、その具体的な内容：
適正な処理技術等の導入及び維持管理	排煙、排水及び廃棄物中の化学物質の回収、再利用、除去、適正な処理技術及び設備を導入する場合は、その具体的な内容：
自主管理目標の設定等 （事業所全体として）	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質対策に関する自主管理目標の設定状況（<input checked="" type="checkbox"/>① 設定済、<input checked="" type="checkbox"/>2 検討中、<input checked="" type="checkbox"/>3 予定なし） ・自主管理目標の具体的な内容： 化学物質の合計排出量を〇〇年比〇%削減する ・目標達成時期：20〇〇年 ・自主管理目標を達成するための実施計画の策定（<input checked="" type="checkbox"/>有）、無
その他配慮内容	なし

備考 1 配慮した内容がない場合には、該当欄に「なし」と記載してください。
 2 記載しきれない場合は、別紙により提出してください。
 3 参考資料がある場合は、添付してください。

自動車排出ガスの排出の抑制等に係る配慮概要書

項 目		環 境 配 慮 の 概 要
自動車の使用台数の削減 （保有・リースに限る。）		（現在の使用台数） 貨物自動車 1台 バス 1台 乗用車 1台 軽自動車 1台 特種自動車 1台 合計 4台
自動車の使用に伴う環境 負荷の低減に係る基本方 針及び行動目標		<ul style="list-style-type: none"> ・低公害・低燃費車の導入 ・物流効率化の推進 ・エコ運搬の推進
取組の管理責任者		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
実施体制の整備		・社内に車両管理チームを設置し、車両更新時の環境配慮 についての規定や、自動車排出ガスの削減についての管理 を行っている。
行 動 目 標 の 達 成 手 段	自動車1台ごとの排 出ガスの低減（低公 害車の導入・排出ガ ス処理装置の装着）	<ul style="list-style-type: none"> ・車両更新時には、車両の必要性を再度検討し、更新する 場合は、より低公害の車種を選定する。 ・エコ運搬により、エコドライブの実施や低公害・低燃費 車の積極的な使用などを図る。
	自動車の使用方法の 合理化による走行量 の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣提携会社との共同輸配送について検討を行っている。 ・輸送手段をトラックから鉄道、船舶に切り替えるモーダ ルシフトについて検討を行っている。
	従業員に対する環境 負荷の低減に係る教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・社内でエコドライブ講習を開催し、従業員への啓発を行 っている。 ・社外で開催される講習会等へ積極的に参加し、従業員へ の啓発を行っている。
行動目標の達成期限		〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
行動目標の達成度の点検 及び是正の方法		・社内報告書作成時に行動目標に対する達成度を確認し、 達成度が低い項目については改善計画を作成する。

- 備考 1 □のある欄には、該当する□内にレ印を記載してください。
 2 配慮した内容がない場合には、該当欄に「なし」と記載してください。
 3 記載しきれない場合は、別紙により提出してください。
 4 参考資料がある場合には、添付してください。

温暖化物質の排出の抑制に係る配慮概要書

項 目	環 境 配 慮 の 概 要
燃焼の合理化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業場内のエネルギー管理計画に基づき、燃料供給量、燃焼状態のチェックを行い、合理的な状態で設備を運転できるよう定期的な点検を行っている。
熱損失の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボイラーや配管、熱利用設備及び断熱材等は、定期的に点検、清掃を行い熱損失の防止を図る。
廃熱の回収	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃熱回収利用のための熱交換器について、定期的に点検、清掃を行い、廃熱回収効率の維持に努める。
設備の合理的使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業場内のエネルギー管理計画に基づき、より効率的な熱利用及びエネルギー活用に努める。
温暖化物質の排出量の少ない燃料の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業場内のエネルギー管理計画において、温暖化物質の削減に取り組んでおり、さらに燃料転換を進める。
自然（太陽）エネルギーの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業場内のエネルギー管理計画において、再生可能エネルギーの導入を計画している。
低公害・低燃費車の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両更新時により低公害・低燃費の車種の選定を行っている。
緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業場内に植樹を行うとともに、建屋の壁面緑化を行っている。
その他	なし

- 備考 1 配慮した内容がない場合は、該当欄に「なし」と記載してください。
 2 記載しきれない場合は、別紙により提出してください。
 3 参考資料がある場合は、添付してください。

廃棄物の発生の抑制及び再生利用等に係る配慮概要書

項 目		環 境 配 慮 の 概 要
廃棄物の発生抑制（リデュース）等の取組（資源の有効利用、製品の長期使用等による廃棄物化回避など）		<ul style="list-style-type: none"> ・製造の工程における原材料の使用量の低減化のため、製品の軽量化技術の研究開発に努め、廃棄物の発生抑制に取り組んでいる。 ・用紙類は両面を利用することとし、使用量を削減している。
廃棄物の循環的な利用	廃棄物の再利用（リユース）等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の輸送用段ボールをプラスチック製コンテナに切り替え、再利用している。
	廃棄物の再資源化、再生利用（リサイクル）等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、雑誌、コピー紙、ダンボール等の紙類及び金属類は、センター内の所定場所に回収し、処理委託によるリサイクル等により、廃棄物の再資源化、再生利用に努めている。
廃棄物の適正な処理	熱回収を目指す処理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化が困難な廃棄物を焼却処理する場合は、熱回収施設を所有する廃棄物処理業者に委託し、処理を行っている。
	適正な処理による公害防止	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理業者に処理委託する際には、含まれる可能性のある成分を提示し、SDS等による取扱い注意事項を説明している。 ・外部での委託処理が適正に行われていることを確認する為に処理場の視察、監査を実施している。
そ の 他		なし

廃棄物の処理状況

区分		一般廃棄物		産業廃棄物			
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理 一般廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 一般廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理 一般廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	
種	類	紙ごみ	木くず 厨芥類 繊維くず	廃酸 廃アルカリ 廃油	廃プラスチック	金属くず	
発生量 (kg/日・平均)		50	50	50	100	100	
処 理	自 ら 処 理 し た 場 合	処理方法					
		処理量 (kg/日)					
	処 理 を 委 託 し た 場 合	処理方法	製紙原料として再資源化	焼却処理	再資源化一部 焼却処理（熱 回収）	再資源化	再資源化
		処理量 (kg/日)	50	50	50	100	100

- 備考
- 1 廃棄物の適正処理について配慮を行った場合に、記載してください（配慮した内容がない場合には、該当欄に「なし」と記載してください。）。
 - 2 記載しきれない場合には、別紙により提出してください。
 - 3 参考資料等がある場合には、添付してください。
 - 4 廃棄物の種類の欄には、「木くず」、「廃油」、「汚泥」等の名称を記載し、必要に応じて性状等を付記してください。

環境の保全に係る組織体制の整備に係る配慮概要書

項 目	環 境 配 慮 の 概 要
環境の保全のための方針、目標及び計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎産業株式会社中期計画に基づき事業場ごとの活動方針、目標と実行計画を策定している。
環境の保全のための役割、責任及び権限に係る組織体制の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎工場長を総括責任者として、各課長を責任者とした環境安全組織により活動している。自動車、廃棄物、排水処理等は担当者を選任している。
施設等の点検管理の規準の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー、排水処理施設等は施設毎に点検項目を定め、日常点検、定期点検等を実施すると共に、作業環境測定等により、確認の規準を定めている。
環境の保全のための従業員の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画内の研修部分に、環境保全への取り組みを取り入れ、従業員に対し環境教育を実施。 ・外部の講習会への参加や各種協会誌の購読などにより情報の収集を行い、従業員へ周知している。
環境の保全に係る情報の把握及び公表の仕組みの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・官報及び各種協会誌の購読、講演会、講習会への参加 ・環境報告書の定期的な発行による情報公開
事故時及び非常時における対応の仕組みの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアルの整備と定期的な訓練の実施 ・各時間帯ごとの緊急時訓練の実施 ・時間外の安全管理者の対応訓練および緊急時連絡網の整備
環境の保全のための方針、目標及び計画の実施状況並びに環境の保全のための組織体制の定期的な点検	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画に基づき事業場活動方針を定め、期毎の重点課題を定めて活動を実施し、年度末の活動内容報告により確認している。
その他	なし

- 備考
- 1 配慮した内容がない場合は、該当欄に「なし」と記載してください。
 - 2 記載しきれない場合は、別紙により提出してください。
 - 3 参考資料がある場合は、添付してください。